

大学の世界展開力強化事業（平成24年度採択）中間評価結果

大 学 名	九州大学
整理番号	Ⅱ－４
構 想 名	スパイラル型協働教育モデル：リーガルマインドによる普遍性と多様性の均衡を目指して

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">S</p> <p>優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。</p>
(コメント)	
<p>本プログラムは、リーガルマインドを涵養することで、普遍的な原則を尊重すると同時に、ASEANの固有性・地域の多様性を理解し、地域を協調的発展に導く日本とASEANの懸け橋となる人材を育成することを目的としている。</p> <p>法学という、相対的に高い語学力が求められる分野において、様々な工夫を凝らし、派遣・受入ともに、数値目標を大きく上回る学生交流を実現している。</p> <p>連携大学ときめ細かい具体的な評価方法を立ち上げ、派遣学生に対しては、渡航前に英語によるプレゼンテーション等の経験や現地語講座を提供し、受入学生に対しては、教育・修学・生活の指導助言など幅広いサポートを実施するなど、学生のモチベーションの向上、教員及び学生の評価水準を共有した取組を行っている点が評価できる。</p> <p>連携大学とのコーディネーションミーティングや外部評価により、取組内容の充実・改善を図り、日本側からの視点だけでなく、ASEAN側の視点にも立った取組内容や実施手順になっているとともに、リーガルマインド育成という目的を共有した優れた取組である。</p> <p>また、ダブルディグリープログラム開設を目指したプログラム設計が行われ、平成26年度中に連携大学と協定を締結し、平成27年度からは、学生の派遣及び受入が予定されており、今後の展開に期待が持てる。</p>	